

事業所における自己評価結果(公表)【児童発達支援】

公表: 令和2年2月26日

事業所名: 光愛りんごハウス

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○		・活動により、マットで仕切ったり、テラスを活用して工夫している。・利用児がのびのび活動できるようできる限り人数を調整している。	
	2 職員の配置数は適切であるか	○		・活動内容により変動する。・母子分離が多い為、職員の人数が足りない事がある。その為、保護者への月一度の母子通園をお願いしている。・子どもの人数や活動に合わせて配置している。	・仕事を持っている保護者が多いため、母子通園が難しいことがあるのでなるべく時間を作って参加していただくようお願いしている。
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	○		・凹凸なく子ども達がスムーズに利用できるような場所を提供している。・利用児に合わせて視覚的支援を行ったり、マットで仕切って外部刺激を減らしたりと道具をうまく使いながら支援している。	・移動時の外階段のひとつひとつが高い。・生活空間の工夫はなされているものの、バリアフリーに関しては、段差等ある。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	○		・毎朝、掃除を行っている。・活動によって室内の空調管理を行ったり、こまめに掃除を行っている。・毎日の掃除と雑巾がけを心掛けている。・洗面台がトイレ前や室内にもあり、子どもの生活、活動に合わせて利用できるようになっている。・毎朝、職員が掃除を行い、清潔を保っている。活動に合わせて、部屋を区切ったり、廊下も活用したりしている。・活動に合わせてスペースを活用している。	・今後も継続して清潔な環境を維持したい。
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○		・活動前と活動後にミーティングを行っている。・朝のミーティングや活動後の反省を徹底している。	
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○		・アンケートを実施し、その結果に基づいて話し合いを行う。・アンケート内容を把握して、会議棟で話し合いを重ね、個別に対応するようにしている。・保護者の意向を参考している。	
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○		ホームページに掲載	
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	○			
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○		・各職員が参加できるようにしている。・毎年違う研修に参加できるようローテーションを組んでいる。	・公開療育を行い、様々な事業所の方達との意見交換をしている。・監査や公開療育を通して、改善すべき点を把握できるようにしている。

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
適切な支援の提供	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	○		・心理士が行い、直接保護者に伝達を行っている。・定期的にアセスメントを行い、子どもの発達段階、課題を踏まえて計画を作成している。・発達検査の結果を有効に活用し、計画作成に役立てている。	
	11 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			
	12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	○		児童発達支援ガイドラインに基づき、適切に支援内容が設定されるよう努めている。	
	13 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	○		・支援計画をもとに支援を行っている。	
	14 活動プログラムの立案をチームで行っているか	○		・ミーティングの際、新しい案があれば職員全員で考えるような体制がある。・朝の活動前のミーティングと午後の反省会などで意見交換を行っている。・プログラム案を職員間で共有、確認し、よりよくなるよう努めている。・活動プログラムを立案し、チームで意見を出し合っている。	
	15 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○		・子どもの状況、特徴に応じて活動内容を工夫している。・研修や保育園との交流の中で遊びや取り組みを見て、新しいプログラムを入れられるようにしている。・様々な意見を取り入れ、同じ活動でもアプローチの仕方を変える等、内容を変更している。	・固定化しつつあるので、何かしらの工夫や新しい活動の取り入れが必要である。
	16 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせることで児童発達支援計画を作成しているか	○		・その子どもにあった段階になるよう計画を立て、支援している。・子どもの状況を踏まえ、計画を作成している。	
	17 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○		・指導案を基に話し合いをし、細かいことを確認している。・朝のミーティングでの指導案に沿った内容や役割の確認を行っている。・活動の流れから個々のその日の目標等、当日にスタッフ全員で確認するようにしている。・必ず行っている。	
	18 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○		・職員全員が思ったこと、その日の児の様子を発言するようにしている。・活動に対する個々の反省を行い、次回の活動に活かせるようにしている。・必ず行い、職員間で共有している。	
	19 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○		・目標をもとに記録をとっている。・日々の日誌に活動の記録、児童の状態を記録することで、次の課題が見えやすくなる。・担当児の個別日誌を細かく記録している。・日誌を有効に活用し、支援に役立てたり、支援計画の立案にも役立てている。	
20 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	○		・担当職員が前もって情報収集したり、資料をまとめておくことで円滑に参加することができている。・相談支援の方々と連携をとりながら進めている。・保護者との面談を行っている。		

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
関係機関や保護者との連携関係	21 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○		・該当児に対して職員が情報を情報収集を行い、資料を基に参加している。・子どもの状態を全体で共通理解できるよう、日頃から伝達を欠かさないようにしている。	
	22 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	○		・研修などで母子保健の方と話す機会がある。・研修等で通っている児の状況、様子などの連携を図っている。・市や地域の研修、勉強会には可能な限り参加し、必要に応じて連絡をとって対応している。	・今後行う必要がある。
	23 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか			該当者なし	
	24 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか			該当者なし	
	25 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○		・連絡会に参加している。・担当職員がモニタリングに参加し、各事業所や各園との連絡を取り合っている。・移行の際、療育での様子や支援の計画の提示などできる限り行っている。・保育園や幼稚園の入園の際は、情報の引き継ぎを行っている。	
	26 移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○		・時間が許す限り、積極的に参加するようにしている。・それぞれの児が進学する際、小学校の連絡会に行き、移行支援を行っている。	
	27 他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○		・他の機関から年に数回来て頂いている。・センター受診後の診断書等を参考にしながら保護者への助言や児への支援を行っている。・公開療育や研修などに参加している。	
	28 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	○		・保育園の行事に参加する機会がある。・保育園での季節の行事等に参加している。・母体の保育園に遊びに行く中で交流する機会を設けている。	・行事等で一緒に参加することはあるが、交流はあまりないので今後増やしていきたい。
	29 (自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	○		系列施設の相談支援事業所の職員が、子ども部会に参加し、情報を伝えてもらっている。	・積極的に関わられるようにしていく必要がある。・子ども部会のニーズを詳しく知っていく必要がある。
	30 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○		・活動終了後には、保護者への伝達を行ったり、会えない保護者には連絡ノートを用いて伝達を行っている。・何か問題が起きた時などすぐに面談の場を設けることができる。・できる限り最近の様子や活動の様子など話せるようにしている。	
31 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	○		ペアレントトレーニングは行っていないが、親子通園を通じて年間スケジュールの中で、懇談会や講師による講座を開く等をペアレントトレーニングとらえている。		

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	32 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	<input type="radio"/>		・所長及び担当者が時間を設け、丁寧に説明を行っている。	
	33 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	<input type="radio"/>		・保護者との面談の中で、支援の丁寧な説明を行い、保護者からの意見や申し出にも耳を傾けた上で同意してもらっている。	・説明に丁寧に時間を割く必要がある。
	34 定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	<input type="radio"/>		・保護者会などを定期的に関わり、要望があればその都度話し合えるようにしている。・定期的以外にも状況に応じて必要な助言や支援を適切に行っている。・年度末の面談はもちろんのこと、日々の帳面でのやりとりも大切に、助言や支援を行っている。・保護者の要望に応じて、面談を行っている。	必要な助言が適切に行えるように今後も研鑽を積みみたいと思う。
	35 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	<input type="radio"/>		・年に何度か保護会を行っている。・年に数回保護者懇談会の場を作ったり、行事計画を立てたりしている。父母の会を開催している。	・保護者会の内容をもう少し充実させていく必要があると考えているが、今年度は初めての父親だけの会を設ける等工夫した。
	36 子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	<input type="radio"/>		・時間の許す限り、早急に対応できるようにしている。・保護者からの申し入れには断る事なく、必ず時間を作り、対応したり、面談をするように心がけている。	
	37 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	<input type="radio"/>		・月に1度、おたより等を出している。・月報の他に掲示板への掲示を行っている。	
	38 個人情報の取扱いに十分注意しているか	<input type="radio"/>		充分注意している。	
	39 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	<input type="radio"/>		・個々に応じた配慮をする為に、詳しく情報を聞くようにしている。	
	40 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	<input type="radio"/>			・どのようにして取り入れていくべきか職員同士で話し合う必要がある。・機会がない為、今後検討していきたいと思う。

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
非常時等の対応	41 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	○		・役割を決め、誰もが目に付く場所に掲示をしている。	・避難訓練を定期的に行っているが、保護者へのマニュアルの周知はできていない。
	42 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○		・毎月、避難訓練を行っている。・月に3回、各グループで行うように努めている。	
	43 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	○		・こまめに熱を計り、体調の変化に気を付けている。・保護者からその日の体調を細かく聞き、検温をしたり、てんかんの薬を預かったりと個別に対応できるようにしている。	保護者との連携を大切にしている。
	44 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○		・事前に保護者と話、除去する食材を確認。医師からの指導表も提出してもらう。・栄養士や母親と必ず連携をとるようにしている。・医師からの診断書を出してもらっている。	
	45 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○		・保護者にも目につく所に掲示をし、全体での把握を心掛けている。	
	46 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○		・機会があれば行きたい。・虐待防止について詳しく知っていく必要がある為、機会があれば是非参加したい。・機会がある際は参加している。	・研修の機会を設ける必要がある。
	47 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	○			基本的に、身体拘束は行っていません。

○ この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。